

- 3 『取景中国：跟着电影去旅行』出版に伴う上海展覧中  
心でのブックフェアでサイン会 要約（2009（平成21）年  
8月18日）（事務所だより第14号・平成22年新年号4頁より）

- 1) 08年3月に会った日中バイリンガル作家毛丹青氏のプロデュースによって、09年8月ついに中国語による中国旅行記、中国映画評論本『取景中国：跟着电影去旅行（Shots of China）』が完成。タイトルは「中国映画と共に中国を旅行する中で切り取った1つの風景」という意味だ。価格は48元（約750円）。出版不況に苦しむ日本と違い知的好奇心に燃える中国は近時出版が盛ん。8月13日～19日上海展覧中心で開催された恒例の「2009上海書展」は、上海万博のプレイベントを兼ねて、10万種類以上の書籍が出展され過去最高。巨大な西一館の半分が文芸出版のゾーンだが、その巨大さは想像以上。やはりすべてが日本の10倍？



- 2) 今回は毛さんと2人での上海旅行だが、私の目的はこの上海書展に出展される『取景中国』のプレゼンとサイン会の実施。他方、毛さんの目的は中国中央電視台（CCTV）の密着取材を受けること。だから、毛さんが上海書展の場で中国好きの日本人弁護士坂和の出版をいかにプロデュースし上海書展を密着取材するのもCCTVの取材の1つだ。すると、私もその取材の対象に？そしてCCTVに私も登場？



- 3) 毛さんと私のイベントはいつも打合せなしのアドリブばかり。広い会場の中を人並みをかきわけて歩いていくと、私のカッコいい姿が写った等身大のパネルと共に設営された『取景中国』のブースが。そこで編集責任者の夏さんの説明の後、「『取景中国』签售暨講座」と題する毛さんの通訳による私のプレゼンが開始された。熱心に聴く聴衆は40～50名。文芸出版社がこれほど力を入れてくれたこと、CCTVの美人ディレクター管さんの取材に非常感謝！